

東京都教育の日 特集
「東京都教育委員会と連携した
区市町村の特色ある取組紹介」

ここでは、東京都教育の日に
向けた、区市町村における
特色ある取組を御紹介
します。

1 「乳幼児期の子どもと保護者に向けての取組」

足立区では、乳幼児期は
人間形成にとって最も重要な
時期であり、中でも親から子への

絵本の読み語りは、親子の信頼関係の構
築につながるとともに、子どもの感性をはぐくみ、また
絵本のストーリー性を通して豊かな人間性を培うこと
につながると考えました。そこで、今年度から平成20
年度までの3年間で「読み語りキャンペーン」期間と位
置付け、読み語りの大切さを広く区民の皆さんに啓発し
ていくことにしました。

具体的には、次のような計画で3年間の事業を進めています。

18年度	乳幼児期の読書の意義等を啓発する (キャンペーン運動・講演会・研修会他)
19年度	読み語りの実践機会及び場の拡大
20年度	家庭での読み語りの習慣化・読み語りを 継続させるためのネットワークづくり

加えて、キャンペーン活動を盛り上げるイベントの実
施、0～5歳児までの発達段階に応じた絵本の紹介や読
み語りの手法等についての絵本ガイドの発行、リーフレ
ットやポスターの作成、ボランティアの育成、母親学級
の活用など、幅広い活動を予定しています。

足立区読み語りの紹介

足立区では、これまで区立中央図書館が中心となって、
ボランティアの皆さんとの連携により読み語りを実施
してきました。

中央図書館での読み語り	対 象	時 間
毎週金曜日に職員、図書 ボランティアの皆さんに よって実施されています。	0～1歳児	11:15～11:30
	2～3歳児	10:30～10:45
	3～5歳児	15:00～15:30

真剣な眼差しで

0歳児や1歳児というと、はたしてちゃんと聞けるのか
なと感じるのですが、職員の方がお話を読み始めると、話
をする人の顔をじっと見つめ、時々手を振るなどして真
剣にお話を聞いていました。中には、保護者のひざの上か
ら立ち上がり、本のほうへ近寄っていく子もいました。

地域の方を中心に参加者が多く、時には1回の参加が



20組を超えることも
あります。毎回楽しみ
で、何度も足を運んで
いるとのこと。何度
も来る間に保護者同
士が親しくなること
も多く、同じ年ごろの子

どもを持つ親としての悩みを話すなど、情報交換の場にも
なっています。

コミュニケーションの場

担当職員の鈴木さんにお話を伺いました。

「お話は、お子さんだ
けでなく、保護者の方
に向けても語りかけて
います。家に帰ったあ
とで、お子さんをひざ
の上に乗せて本を読ん
でくれば良いと思



っています。このようなコミュニケーションは、この時
期の子どもにとってとても重要だと考えています。」

乳幼児期におけるこのような経験は、ルールや規範意
識などの社会性や豊かな想像力の育成につながるだけ
でなく、親子の心の交流はもちろん、親と子の信頼関係
を築き上げる等、基本的な生活習慣の土台を築くこと
にもつながっていきます。

子どもの心を引き付ける

読み語りを実施されている職員は、皆さん司書の資格
を持っていますが、さらに定期的に研修会を行い、読み
語りの手法や子どもたちを引き付ける技術について研
究を重ねています。この日も、手遊びを上手に交え、子
どもたちを引き付けるとともに、本を読むときには、声
の抑揚、大きさ、また子どもとの距離や絵の見せ方等
にも十分配慮し、子どもたちの興味や関心を持続させて
いました。職員やボランティアの皆さんも、常に努力を重
ねているのです。

足立区では、読み語
り推進会議を核に、区
民運動として展開し
ていきます。今年度は、
中央図書館を中心とし
て、このような読み語



りの拡充を目指すとともに、11月下旬には著名人を招
き、読み語りについての講演会を開催し、読み語りのよ
さを通して、乳幼児期の基本的な生活習慣確立の必要性
を、広く区民の皆さんに伝えていく予定です。

「読み語り講演会」のお知らせ

平成18年11月26日(日) 午前10時～12時
足立区役所 庁舎ホールにて
講演会テーマ「絵本を通じた親子のつながり」

講演会に伴い、区役所入口スペースで、読み語りの実演
等を実施する予定です。